

### 3 リニア中央新幹線「京都駅ルート」の実現

リニア中央新幹線の整備は、21世紀の我が国の国土軸のあり方に関する極めて重要な国家政策であります。

しかし、平成23年5月に決定された現在の整備計画は、今から40年前の昭和48年に東海道新幹線の老朽化や事故に備えた代替ルートとして策定された「第二東海道新幹線」の基本計画が、一度も検証されることなく、そのまま踏襲されたものであります。

京都市が京都府や経済界とともに実施した試算では、利用者便益、事業者便益、経済波及効果のいずれにおいても、京都駅ルートが現行計画のルートを上回っており、現行計画のルートは、我が国の新たな国土軸としての議論が尽くされたものとは言えません。

また、名古屋・大阪間の開業が、東京・名古屋間の開業（平成39年予定）から18年遅れることになる現在の計画では、東京一極集中が更に加速しかねません。

千年を超えて、日本の精神文化、ものづくり、芸術文化、宗教等の中心として、人々を魅了し続けてきた都市である京都が国際的に果たす重要性や開業後の採算性等を踏まえ、最適なルートを比較検討していただくとともに、リニア中央新幹線の整備効果を最大限に発揮させるために、

- ① 「京都駅ルート」の実現
  - ② 「リニア中央新幹線」の国家プロジェクトとしての整備及び東京・大阪間の同時開業のための支援
  - ③ 国際拠点空港である関西国際空港へのアクセス改善
- の3点について、要望します。